

# Lekage is a shame !

**漏水は恥！挑まぬならさらに恥！**

—外壁目地シーリングの排水経路の確保—

北海道支店建築仕上部会

株式会社 タケイチ工業

# 採用現場

建物用途：工場

構造：鉄骨造

規模：地上1階建て



# 動機

## 動機①

金属系、黒色系の外壁の場合、熱吸収が多い為、寒暖差の影響を受けやすく、引張り・圧縮という動き（ムーブメント）が大きくなりシーリングへの力がかかりやすい。

※シーリングの疲労（負担）が激しい。

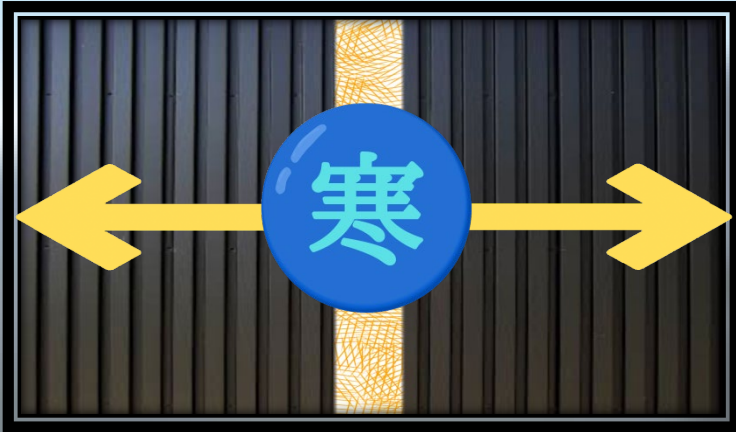
## 動機②

シーリング材は、数年後に必ず劣化が始まり動きが大きいと接着面の剥離が起こりやすくなる。

※シーリングの疲労（負担）が激しい為、経年劣化を早める。

- ・上記の結果、確実な排水経路処置を施していないと、いずれ内部へ漏水の原因になります。

## 動機 ①



- ・天候が晴れと曇りでも日射量が変わるなど熱による影響を受けます。

- ・日中の気温が高すぎると夜間との温度差が大きくなります。

(材料の色でも明色より暗色の方が熱の吸収が1.3倍にもなり北海道の場合は更に昼間と夜間の温度差が大きくなります。)

◎このように、天候や施工時間帯の気温により材料の伸縮への影響が考えられました。

## 動機 ②

- シーリング材の特徴

経年劣化により防水性能に支障が出てきます。  
要因として

目地のムーブメントによる負荷がかかったり紫外線を浴びたりする事が挙げられます。

これらによる劣化は、現在防ぐことが不可能な為、様々な対策・提案を行いました。

## 対策手段として

万が一に水が侵入してきた際に  
内部へ入れず外部へ排水するための経路を確保  
し、排水口から吹き込むことも防止する。  
その為に検討・提案を行い施工を実施する。

# 実施概要①

①外壁継目の目地幅、深さによるバックアップ材の検討。

目地幅は  
何cmなのか?

十分な  
深さは取れるのか?

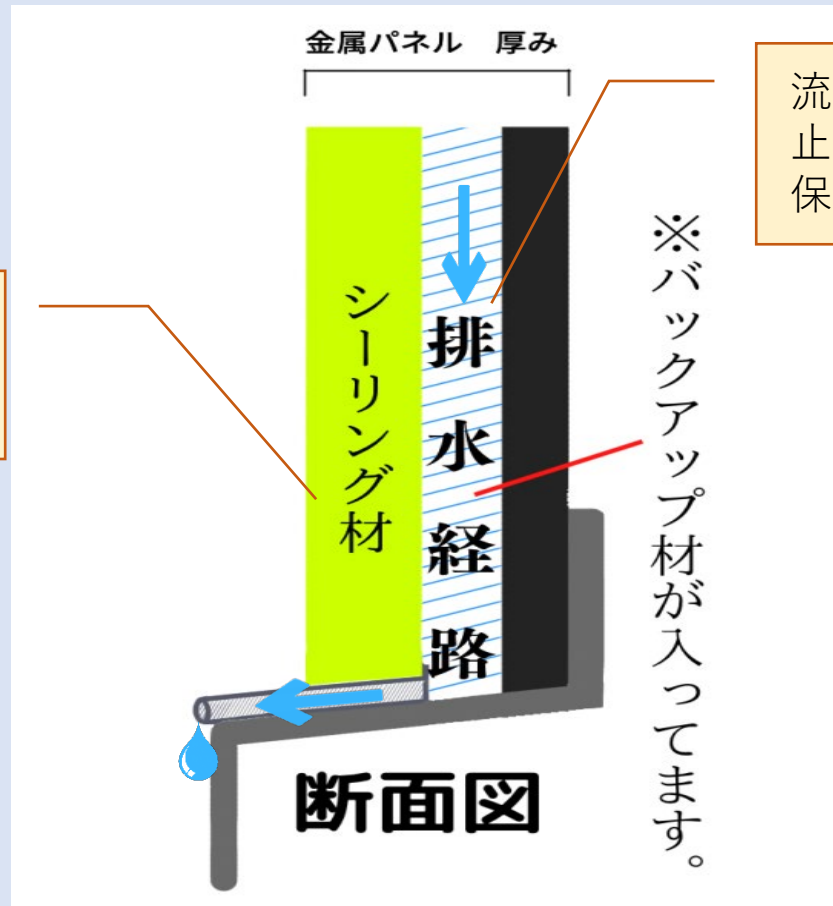


事前に目地の形状・寸法を確認し、  
適切なバックアップの選定。

## 実施概要②

②目地から縦に水が流れた場合の最下部で経路の検討。

シーリング材の厚みも、確保されることも検討。



流れてくる水を、せき止めない排水経路の確保を検討。

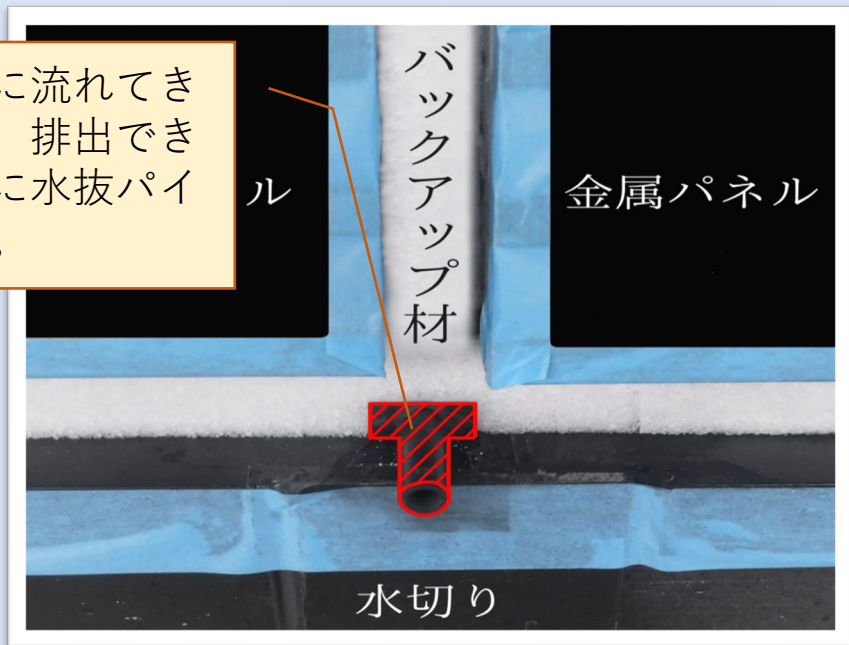
※バックアップ材が入ってます。



# 実施概要③

## ③排水パイプ取り付け位置の検討。 (逆流弁付きの水抜きパイプ使用の提案)

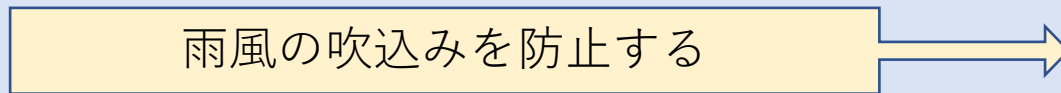
縦と横に流れてきた水を、排出できる位置に水抜パイプ設置。



玉が動くこと  
によって逆  
流を防止



雨風の吹込みを防止する



# 効果



現場で実際に目視にて確認を実施。

◎施工後に自主検査を行い、  
シーリングの接着自体は良好です。

今回の提案はシーリングの確実な施工で漏水を起こさない。という弊社の品質に対する考えに様々な要因で起こる不具合にも  
施工時に対処をする。という観点での提案事例です。

万が一ですが、数年後に劣化による影響があっても水は内部に侵入せずパイプから外部に排出されることになるでしょう。

## 感想

これからもシーリング専門業者として  
漏水は恥と考えシーリング施工部分以外にも可能性のある漏水。  
それを見つけ出せるようになる為に日々学び  
作業所の状況に沿った施工・使用材料の提案も行いたいと思います。  
引き続き更なる安全性・美観性を兼ね備えた  
良品質の施工を目指し挑戦し続け  
社員一同成長していきたいと思っております。